

PRESS RELEASE

FOR IMMEDIATE RELEASE: 2006 年 11 月 1 日

アイアンポートシステムズ、PostX を買収

～ PostX の暗号化技術搭載により世界最高水準のメールセキュリティソリューションが誕生～

米国カリフォルニア州サンブルノ、カリフォルニア州クパティーノ 2006 年 11 月 1 日——インターネットゲートウェイセキュリティのリーディング企業、アイアンポートシステムズ®は本日、企業向けメール暗号化技術の大手 PostX Corporation を全株取得により買収する事を発表しました。また、独自のコンテンツキャッシング機能に PostX の技術を組み合わせて大幅な機能強化に乗り出すことで、世界最高水準の堅牢性と拡張性を備えたメール暗号化ソリューションが誕生することを明らかにしました。

アイアンポートの共同創業者で CEO のスコット・ワイスは次のように話しています。「アイアンポートは、常にお客様の声に耳を傾けることで着実に成長を遂げてきました。お客様の間では、メール暗号化システムに対する関心が非常に高く、特に PostX を選定するお客様が多く見られました。そして PostX の技術をアイアンポートのアプライアンスに組み込んで、より高度な連携をさせたいとの声が多数寄せられていました。今回の買収は、お客様のご要望を確実に実現可能にするものです」。

シナジー効果を生む最強の組み合わせ

現在、アイアンポートは全世界で 3500 万以上のユーザーをネットワークの脅威から保護しています。その数は、ゲートウェイセキュリティアプライアンス業界最多です。世界の大手 ISP 上位 10 社のうち 8 社、世界の大企業上位ランキング 100 社の 42% の企業がアイアンポートのソリューションを導入しています。PostX のメール暗号化技術は、世界の大企業ランキング「グローバル 2000 社」に名を連ねる企業に多数採用されており、世界屈指の銀行、クレジットカード会社、「フォーチュン 500 社」にランキングされている保険会社など、豊富な納入実績を誇ります。

アイアンポートと PostX は、今回の買収により、この定評あるメール暗号化技術を世界中のアイアンポート製品ユーザーに提供可能にします。なお、PostX のソリューションは、従来どおり「PostX Secure Envelope」として販売します。また、アイアンポートでは、PostX の OEM 事業も継続的に支援、展開していく意向です。

調査会社 NetsEdge Research の共同創業者兼アナリストのピーター・クリスティ氏は、次のように説明しています。「メールセキュリティ分野が業界再編を迎えていることは明らかです。業界再編の担い手としての力を持っているベンダーは非常に限られています。アイアンポートはまさにその条件を満たしています。今回の買収でメール暗号化技術の本命を手中に収めた形になります。こうした動きは今後さらに加速すると思います」。

シンプルに徹した結果が成功に

PostX のメール暗号化技術がこれほど普及した理由は、シンプルに徹したソリューションにあります。PostX は独自のクライアントレス技術を開発し、インターネット上のあらゆるメールボックスを対象にセキュリティと信頼性に優れたメールコンテンツ保護を実現しました。メールの送受信に利用するソフトを問わない点も大きな特長です。メール暗号化技術に関しては、すでに 10 年以上前からいくつかの方式が登場していましたが、送信側と受信側の双方に特別なソフトを導入する必要があったため、PostX ほどの成功を収めるまでには至りませんでした。

アイアンポートでは、PostX 技術を送信側インフラにシームレスに組み込み、エンドユーザーには特に意識させない方法を採用します。アイアンポートの先進のコンプライアンス機能やウェブベースの「Email Security Manager™」を活用することで、メール内の機密情報の有無を的確に判断して、PostX の暗号化システムで自動的に暗号化処理を施す環境が構築できます。受信者が PostX Envelope で暗号化されたメールを開くと、読者認証画面が現れます。この認証後にメールを閲覧できます。

PostX の CEO、ケイシー・アルマンは、次のようにコメントしています。「これまでアイアンポートシステムズとは、手を組んで大企業からのセキュリティニーズに応えてきました。弊社の強みを考えると、今回のアイアンポートとの組み合わせは最強であると自負しています。非常に馴染みのあるアイアンポートの一員となれたことを大変嬉しく思っています。」

企業の複雑なメールポリシーを管理

アイアンポートは同日、コンテンツスキミング機能の強化についても併せて発表しました。新型のコンテンツレンダリングエンジンでは、PDF や Microsoft Office 文書など、400 種類近いファイル形式の添付ファイルを開いたり、ファイル内のテキストやメタデータを抽出したりすることが可能です。この文書レンダリングエンジンは、ウェブベースの強力なコンソール「IronPort Email Security Manager」から管理されます。このため、企業の IT 担当者は、複雑なメールポリシーを簡単に管理し、SOX 法や HIPAA (医療保険の移動継続性と責任に関する法律) などの法令順守を徹底できます。

「IronPort Email Security Manager」には、注意を要するキーワードを集めた辞書が内蔵されています。すでに PostX のコンプライアンス辞書はアイアンポート製アプライアンスに組み込まれています。この辞書は、AHA (全米病院協会) が推奨する唯一の辞書です。アイアンポートのアプライアンスで作成したルールに一致するメールが見つかったら、PostX の暗号化エンジンに送られ、暗号化処理が施されます。この強力なフィルタリング機能をサポートするため、アイアンポートでは専用レポート機能を開発しました。この機能があれば、コンプライアンス担当者や IT 管理者は、従業員ごと、ポリシーごとにコンプライアンス状況が把握できます。

新時代のビジネスメール

アイアンポートと PostX の経営統合の効果は、コンプライアンス分野にとどまりません。ビジネスメールのあり方を根底から変える可能性があります。「PostX Envelope」には、送信者に一定の責任追跡性とコントロール権限を与える機能があります。このような機能は従来のメールにはありませんでしたが、PostX のソリューションがあれば、送信者はメール 1 通ごとにアクセス権限のレベルと受信対象者を決定できます。

「メールは便利な道具ですが、その良さが裏目に出ると、機密情報や個人情報がメールを通じていとも簡単に犯罪者らの手に渡ってしまいます。このような事故は決して珍しくありません。その点、PostX の技術があれば、こうした流出・漏洩メールを文字どおりリコール(撤回)できます。つまり、いったん撤回処理すれば、たとえ受信されても相手はメールを開くことができないのです。たとえば、『返信』ボタンを押すつもりが、うっかり『全員に返信』を押してしまった場合を考えれば、このリコール機能の価値がおわかりいただけるはずです」(前出・アルマン PostX CEO)。

「PostX Envelope」の場合、ウェブメール、Microsoft® Outlook、Lotus Notes など、ありとあらゆるメールクライアントでこのリコール機能が利用できます。アイアンポートと PostX の統合により、企業にとってはこれまでにないワンランク上のメール、いわば“ビジネスクラス”のメール環境が実現します。ビジネスクラスのメールは、安全、高信頼にして認証付き、しかもスパムやウィルスとも無縁です。そして宅配便のように、いつでも履歴をたどれる責任追跡性が保たれています。

製品情報

PostX の辞書を搭載したアイアンポートのメールセキュリティアプライアンスは、すでに出荷が始まっています。コンプライアンス機能強化版は、「IronPort AsyncOS™5.0」の一部として、11 月後半にリリースを予定しています。また、PostX の暗号化エンジンは、2007 年前半からアイアンポートのアプライアンスに搭載予定です。なお、すべての PostX 製品の出荷は引き続き継続されます。詳細については、www.ironport.com または www.postx.com をご覧ください。

PostX の概要

PostX は、業務や顧客管理に欠かせない高信頼暗号化による情報配信技術に定評があります。使いやすいエンタープライズクラスの暗号化通信技術を独自に開発し、企業のコンプライアンス(法令順守)やコスト削減に貢献しています。PostX 製品の導入により、従業員、パートナー、顧客との効果的なコミュニケーションが促進され、すぐにメリットを実感できます。

PostX は、AHA(全米病院協会)に認められた唯一の高信頼メールプロバイダーとして、厳格な規定で知られる HIPAA(医療保険の移動継続性と責任に関する法律)に適合する標準準拠の高信頼メッセージングソリューションを提供しています。また、AHA ネットワークに加盟する 37,000 の開業医や 5,000 を超える病院にも推奨されています。

PostX の本社は米国カリフォルニア州クパティーノ。主なパートナー、取引先には、ABN AMRO、Aetna、Allstate、BorderWare、Charles Schwab、Children's Hospital、Citi、DirectTV Enterprises、HSBC、IBM、アイアンポート、Marsh Inc.、Mayo Clinic、McAfee、Mercy Health Partners、MessageLabs、Microsoft、RSA Security、Sendmail、Sophos、USPS(米国郵政公社)などがあります(アルファベット順)。詳細については、www.postx.com をご覧ください。

アイアンポートシステムズの概要

アイアンポートシステムズ®は、中小企業にはじまり、フォーブス誌「グローバル 2000」企業ランキングに名を連ねる世界の巨大企業に至るまで、幅広い企業向けにインターネットゲートウェイセキュリティ製品を提供するリーディングベンダーです。メールセキュリティアプライアンス「IronPort C-Series™」やウェブセキュリティアプライアンス「IronPort S-Series™」をはじめ、セキュリティゲートウェイのアプライアンスを開発しています。各種用途に特化したアイアンポートのアプライアンスは、画期的なパフォーマンスを備えており、メール/ウェブの脅威検知を目的とした世界最大のネットワーク兼データベース「SenderBase®」と連携動作します。現在、多くの企業がミッションクリティカルなネットワークの管理や脅威への対策といった難題を抱えています。アイアンポートシステムズでは、先進の技術を駆使し、高性能で運用性に優れた製品で、こうした難題を解決します。アイアンポートの製品・サービスの詳細については、弊社ウェブサイト(<http://www.ironport.com/jp>)をご覧ください。